

新刊 / 2025年2月27日搬入予定

金沢市出身 富山市在住

国立極地研究所元職員であり
元南極越冬隊員でもあった
著者がつぶさに綴る滞在記！

世界最北のサイエンスの町・ ニーオルスンをご存知ですか？

『ナショナルジオグラフィック』(2024年12月号)で
ニーオルスンの特集記事が生まれ、話題！

ニーオルスンってどんなところ？

北緯78度55分、11か国の観測施設が集う世界最北の「国際観測拠点」。
大気、雪氷、生物、宇宙など様々な分野の観測が日々行われている北極研究の最前線。
Wi-Fiの使用禁止、建物の施錠不可といった特殊なルールがある。かつては炭鉱で
栄え、探検家の拠点となった後、サイエンスの町として生まれ変わった。

観測技術者とは？

現地に滞在し、研究者のサポートから、護衛、除雪、広報までをこなす「何でも屋」
のような仕事。著者は、この職業でニーオルスンに長期滞在した初めての日本人。

- ・許容なく滞在できないこの町に、世界中から研究者が集う
- ・ホッキョクグマ対策として観測にはライフルを持って行く
- ・一日中オーロラが煌めき、レーザー光線が夜空に飛ぶ日常
- ・氷点下のマラソン、ダンスパーティーなどの個性豊かなイベント
- ・温暖化の進行が特に早く、地球の未来を知る研究・観測の最重要地
- ・壮大な自然、世界各国の滞在員達との交流、極夜・白夜中のルーティンなど、
ニーオルスン滞在中に見た・感じたことをまとめた4年間の記録。

パネル展や著者のトークイベント展開 ご検討ください！

3冊以上のご注文につき、拡材をご用意いたします。

A4 パネル・POP

※ご希望の拡材に○をお付け下さい。

オーロラの下、 北極で働く



タイトル：オーロラの下、北極で働く
著：松下隼士 協力：国立極地研究所
予価：1870円 (本体1700円+税)
仕様：四六判 / 並製 / 4C・IC/244P
ISBNコード：978-4-8441-3812-9
図書コード：C0026

松下隼士 Junji Matsushita



石川県金沢市生まれ。
海洋地球研究船の乗
船技術者として世界
各地の海洋観測に従
事。その後、大気観
測の技術者を経て、
南極地域観測隊の夏
隊、越冬隊、東京海
洋大学の南大洋航海
に参加。2023年に富
山へ移住。

2
/17(月)
注文締切

新刊委託

帳合・貴店名

ご担当者名

様

冊